

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために — 必ずお守りください —

- 接続・取り付けやご使用前に、この安全上のご注意と別冊の取扱説明書・取付説明書をよく読みになり、安全に正しくお使いください。
- 安全上のご注意、取扱説明書、および取付説明書は、お読みになったあと、いつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示について

この安全上のご注意、取扱説明書、取付説明書、および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただいて、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから本文をお読みください。

- 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	危険	この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定されている内容」を示しています。
	警告	この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
	注意	この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。
		このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。
		このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。
		このような絵表示は、必ず行っていたく強制的な内容です。

危険

共通	リチウム電池の使用方法	液体で濡らさない		電池パックを水、海水、ジュースなどの液体で濡らさないでください。組み込まれている保護回路が壊れ、異常な電流、電圧でリチウムイオン電池が充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。
		電池を加熱しない		電池パックをストーブなどの熱源のそばへの放置や、火の中に投入したり、ホットプレートなどで過熱しないでください。絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構を損傷するだけでなく、発熱、破裂、発火の原因となります。
		強い衝撃を加えない		電池パックに釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。変形、保護機構が破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因となります。
		電子レンジに入れない		電池パックを電子レンジや高压容器などに入れないでください。急に加熱されたり、密封状態が壊れたりして、発熱、破裂、発火の原因となります。
		分解や改造をしない		電池パックを分解したり、改造しないでください。発熱、破裂、発火の原因となります。
		異常のまま使用しない		電池パックの使用、充電、保管時の異臭、発熱、変色、変形、その他、今までと異なることに気づいたときは、機器より取り出し、使用しないでください。使用継続の場合は電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
		引火に注意		電池パックが漏液したり、異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因となります。

警告

共通	使用方法	液体で濡らさない		本機を水やジュースなどの液体で濡らさないでください。発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
		通気孔や端子部分などから本機内部に異物を入れない		金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
		分解や改造をしない		本機を分解したり、改造しないでください。事故・発火・感電の原因となります。
		電池やSDメモリーカードを幼児の手の届かないところに保管する		事故防止のため、電池やSDメモリーカードを幼児の手の届かない所に保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。
		引火に注意		引火性ガス（プロパンガス、ガソリンなど）の発生するような場所（ガススタンド、ガソリンスタンドなど）では、電源を切り、使用しないでください。引火・爆発の原因となることがあります。
		雷に注意		雷が発生しているときは、アンテナ、本機、電源プラグに振れないでください。落雷により感電の危険があります。
		船舶、航空機、バイク、登山で使用しない		船舶、航空機、バイク、登山で使用しないでください。位置誤差が生じたり、電池がなくなったりして、地図が表示されず事故の原因となります。また、塩害などにより発熱、破裂、発火の原因となります。

パイオニア株式会社
〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 2008
< KKNKNX/080D0000 > < CZR5103-A >

警告

共通	異常時の処置	異常のまま使用しない		万一、内部に異物が入った・水がかかった・煙が出る・変なにおいがするなど異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。
		故障のまま使用しない		画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。故障したときは、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

車で使用する場合

共通	接続・取り付け	DC12V⊖アース車専用		本機は、DC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災の原因となります。
		エアバッグの動作を妨げる場所には絶対に取り付け・配線しない		エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付け・配線をしてください。エアバッグの動作を妨げる場所に取り付け・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、ケガや事故の原因となります。
		前方の視界や運転の妨げになる場所には取り付けしない		前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作の妨げになる場所、運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。
		ケーブルに他の機器の電源を接続しない		ケーブルの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にしないでください。ケーブルの電流容量をオーバーし、火災や感電の原因となります。
		ケーブル類は運転操作の妨げとならないように配置する		ケーブル類は、運転操作の妨げとならないようテープなどでまとめておくなどしてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

車で使用する場合

共通	接続・取り付け	ケーブル類は途中で切断しない		ケーブル類には、ヒューズなどが付いている場合があります。絶対に途中で切断し、短くして使わないでください。保護回路が働かなくなり火災の原因となります。
		車両の電装品が正常に動作することを確認する		取り付けと配線が終わったら、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなどの電装品が元どおり、正常に動作することをお確かめください。正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。
		確実に固定する		取付説明書に従い、確実に取り付けてください。外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となることがあります。
		実際の交通規制に従って走行する		ナビゲーションによるルート案内時も、必ず実際の交通規制に従って走行してください。ナビゲーションによるルート案内だけに従って走行すると実際の交通規制に反する場合があります。交通事故の原因となります。
	使用方法	運転中に操作をしない		運転者は運転中に本機の操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作を行うときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。
		運転中にテレビなどを見ない		運転者がテレビなどを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させて、サイドブレーキをかけてください。テレビなどは安全のため走行中は表示されません。
		運転中の画面の注視は必要最低限にする		運転者は運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。前方不注意となり交通事故の原因となります。
		異常時の処置	ヒューズは規定容量（アンペア数）以外のヒューズを使用しない	

警告

使用方法 自宅で使用する場合	交流100ボルト 50 / 60 Hz 専用			表示された電源電圧（交流100ボルト 50/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。指定以外の電源に接続すると、発熱・火災・ケガ・感電・故障の原因となります。
	ACアダプタは付属のものを使用する			ACアダプタは、必ず製品に付属するものを使用してください。市販されているものには、異なる電圧のものなどがあり、故障や火災の原因となることがあります。
	本機を使用できるのは日本国内のみです			本機は、日本国内でしか使用できません。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。
	水まわりでは使用しない			風呂場、シャワー室や調理台、加湿器のそばなど、油煙、湿気、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
	ケーブルに重いものをのせない			ケーブルの上に重いものをのせないでください。また、ケーブルが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因になります。敷物などで覆うことにより、気づかずに重いものを乗せていることがあります。
	ケーブルの取扱い			ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したり、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりしないでください。ケーブルが破損し、火災・感電の原因となります。
	濡れた手でさわらない			濡れた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
	電源プラグはきれいにしておく			電源プラグの刃、および付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

注意

共通 使用方法	磁気カードなどを近づけない			キャッシュカードやフロッピーディスクなどを本機に近づけないでください。磁気データが消去されることがあります。
	目にささない			アンテナを誤って目にささないでください。失明の恐れがあります。
	電源ON時はボリュームに注意する			電源ON時は、ボリュームに注意してください。電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
	温度の上昇に注意する			本機は、環境や使用状況によって温度が上昇する場合があります。ケガや事故の原因となることがありますので、ご注意ください。
	指定の電池を使用する			指定以外の電池は使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、ケガや周囲を汚染する原因となります。
	本機は直射日光の当たる場所を避けて保管する			本機は直射日光の当たる場所や高温、高湿の場所を避けて保管してください。また、本機をタッチボードに放置しないでください。変形、電池の破裂、液もれの原因となることがあります。

異常時の処置	表示や音が異常のまま使用しない			音が割れる、音や映像が歪む、正しく表示しないなどの異常状態で使用しないでください。火災の原因となることがあります。
	電池の液もれに注意する			電池の液もれて、液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流し、また眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、ただちに医師の治療を受けてください。
共通 接続・取り付け・設置	直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所では使用しない			直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所では使用しないでください。本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
	水がかかる場所やほこりの多い場所では使用しない			ドア近くの雨が吹き込む所など、水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所での使用は避けてください。本機に水や湿気、ほこり、油煙が入り込むと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
	不安定な場所では使用しない			不安定な場所や、しっかりと固定できない場所での使用は避けてください。落下による発煙や発火、故障の原因となることがあります。
	通風孔や放熱板をふさがない			本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。
	正しく接続する			取扱説明書や取扱説明書で指定されたとおり正しく接続を行ってください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

注意

接続・取り付け 車で使用する場合	製品を天井など不安定な場所に取り付けけない			天井など不安定な場所に取り付けけないでください。落下し、事故やケガの原因となることがあります。
	エアバッグの注意事項を車両メーカーに確認する			エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。
	車両の動く部分にコード類をはさみ込まないように注意する			車体やネジ部分、シートレールなど、車両の動く部分にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故・感電・火災の原因となることがあります。

注意

共通 接続・取り付け 車で使用する場合	分岐配線をしない			分岐配線をしないでください。分岐配線で電源を取るとケーブルが加熱して、火災・感電の原因となります。
	シガーライターのプラグを確実に挿入する			プラグを確実に挿入してください。また、シガーライターソケットの中に異物が入っていないか確認してください。火災・感電の原因となります。
	付属の部品以外は使用しない			必ず本機に付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できず外れることがあり危険です。
	ケーブルが金属部と接触する場合は保護テープを巻く			ケーブルが車両の金属部に接触しない、必ず接触部分に保護テープを巻き、ケーブルの被覆を保護してください。保護しないと火災や感電の原因となります。
	適正な音量や明るさで使用			運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。また、映像は適切な明るさでご使用ください。
使用方法	シガーライターのプラグを濡らしたり汚したりしない			プラグを濡らしたり、汚したりしないでください。火災・感電の原因となります。濡れたり、汚れたりしたときは、きれいに拭き取ってください。

共通 使用方法 自宅で使用する場合	プラグを抜くときは、コードを引っ張らない			プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードを引っ張るとコードが破損し、発熱・火災・けが・感電の原因となります。
	移動させる場合はプラグを抜く			移動させる場合は電源スイッチを切り、必ずプラグをコンセントから抜き、外部のコードを外してから行ってください。コードが傷つき火災、感電の原因となることがあります。
	使用しないときや、お手入れのときはプラグを抜く			安全のため、使用しないとき、お手入れのときはプラグをコンセントから抜いてください。発熱・火災・ケガの原因となります。
	プラグの差し込みに注意			プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災・ケガの原因となることがあります。また、プラグの刃に触れると感電することがあります。
	ゆるみのあるコンセントに接続しない			プラグを根元まで差し込んでみてもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。家電販売店や電気工事にコンセントの交換を依頼してください。
	ケーブルを熱器具に近づけない			ケーブルを熱器具に近づけないでください。ケーブルの被ふくが溶けて、火災、感電の原因となることがあります。